

# 100万点を収集、財団に寄贈

## ジブラルタ生命保険

協賛会社のジブラルタ生命保険（ベルマーク番号 15）が12月14日、社内で集めたベルマーク約100万点を財団に寄贈しました。同社執行役員補佐の松本哲さんと、コーポレート・クオリティ推進チームの及川健太郎さんと山内理紗さん、提携団体チームの田中紗矢さんの4人が会社を代表して届けてくれました。

同社は協賛会社として、全ての保険商品に一律100点のベルマークを付けるだけでなく、全国各地にある営業拠点がマークの収集にも取り組んでいます。

毎年、たくさんのマークが集まる理由のひとつに「インターナショナル・ボランティア・デー」もあります。

10月の第1土曜日を、社員が各拠点の地域にある福祉施設や神社の清掃、ハーフマラソンの運営補助などのボランティアをする日とし、その日にベルマークの整理に取り組むチームもいるそうです。「学校を担当している社員も多くいることから、ベルマークに対する思いはかなり強い」と社員の意識の高さを話してくれた松本さん。支援先の学校が、必要な備品を自分たちで選べるというベルマークの仕組みにも触れ、「環境の変化などで、そのときどきによって必要な品物は変わる。ベルマークはその要望に応えることができる」と改めて、運動の魅力についても語りました。



左から及川健太郎さん、山内理紗さん、田中紗矢さん、松本哲さん。思いやりの気持ちをハートに込めて

# オイスカ浜松国際高へ3度目の寄贈

## キリンビバレッジとタカラ・エムシー

静岡を中心にスーパーマーケットを展開しているタカラ・エムシー（本社・静岡市駿河区）と、協賛会社のキリンビバレッジ（ベルマーク番号 54）は共同のキャンペーンと店舗内の回収箱の設置で集めたベルマークを12月15日、オイスカ浜松国際高等学校（鬼石貞治校長）に寄贈しました。

この日、寄贈にあたって約2時間のプログラムを実施しました。冒頭、キリンビバレッジ執行役員中部圏統括本部長の小林雅敬さんが「ベルマークキャンペーンの実施は3度目、前回のキャンペーンに比べ倍以上の応募がありました。今後も継続しながら多くの方々のお役に立てたら嬉しい」と挨拶。プログラムは校内各教室をリモートでつなぎ、すべての生徒が参加。同校のベルマーク活動の中心的役割を担う「ベルマーク委員会」からのプレゼンテーションや、食品ロスなどのSDGs勉強会、クラス対抗・SDGsクイズ大会などで盛り上がりました。



ベルマーク寄贈では、タカラ・エムシーの上野拓社長から代表生徒に、「フードマーケットマム」のオリジナルマイバツ

グにぎっしり詰まったベルマークが手渡されました。上野社長は「寄贈させていただいたベルマークを有効に活用してください」。同校の鬼石校長は「本当に心温まる贈り物をいただきました。ベルマーク委員会の地道な活動も、この気持ちをいただいています。励みになります」と感謝を伝えました。

グにぎっしり詰まったベルマークが手渡されました。上野社長は「寄贈させていただいたベルマークを有効に活用してください」。同校の鬼石校長は「本当に心温まる贈り物をいただきました。ベルマーク委員会の地道な活動も、この気持ちをいただいています。励みになります」と感謝を伝えました。

# 「くれたものをつかって、べんきょうをがんばる」

## へき地校2校から感謝メッセージ

今年度、財団が支援したへき地校のひとつ、徳島県の美波町立伊座利小学校（高井賢二校長、児童7人）から感謝メッセージが届きました。交通の便を理由に、離れた地区にある由岐中学校の伊座利分校（生徒2人）も同じ場所にあります。

寄贈品を選ぶ作業では、「買いたくても購入できないものや人数が少ないために購入できないものを検討した」と高井校長。その結果、今年度認可された特別支援学級に置ける備品にしようという職員全員の思いが一致し、ジャンピングシェイプやスキルカードを選びました。特別支援学級に通う児童からのお手紙には、「これからもくれたものをつかって、

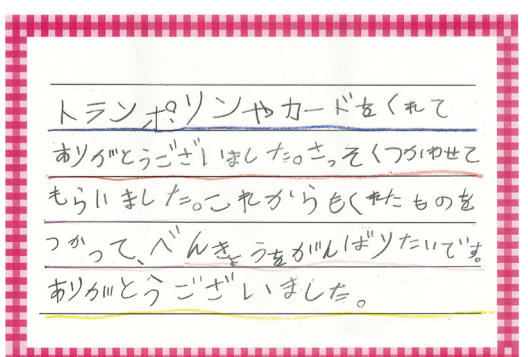
べんきょうをがんばりたい」と記されていました。また、毎年欲しいと思っていたながらなかなか購入できなかった琴も選びました。「このような活動は、学校現場にとって本当にありがたいものです」と高井校長は話してくれました。

「にぎやかそ にぎやかな過疎の町」をうたい、地域振興に取り組む美波町は、徳島県の南東部にあります。町の南東部は広く太平洋に面しており、伊座利小の子どもたちも、釣りや伊勢海老漁の体験など、海にまつわる体験学習に取り組んでいます。

長崎県の対馬市立仁田中学校（八坂健一校長、生徒27人）には、ワンタッチ

テント、トランシーバー、CDラジカセなどを贈りました。全校生徒で陸上や駅伝大会の練習に取り組んでおり、ワンタッチテントは熱中症が心配される夏場の練習に活躍しました。近くの小学校と保育所と合同で10月に開催した運動会でも、会場の小学校の校庭に持ち込んで使いました。永留健太教頭は「少人数でもあつという間に設置でき、とても便利です」と話しました。

長崎県の対馬にある同校は、近くに天然記念物のツシマヤマメコを保護する対馬野生生物保護センターや、日本在来種の馬「対州馬」を飼育する馬事公園があり、生徒たちの学習の場になっています。



①琴に触れる子ども ②特別支援学級の児童が書いてくれたお礼の手紙(美波町立伊座利小) ③ワンタッチテント(対馬市立仁田中)

# 大台達成校

1月		
大砂土東小		
さいたま市見沼区	10,023,788	
中田小	横浜市泉区	8,002,584
横内小	静岡市葵区	8,001,979
中野島小	川崎市多摩区	6,020,947
新橋小	横浜市泉区	5,021,985
多肥小	高松市	5,088,960
平佐西小	鹿児島県薩摩川内市	5,002,939
晃華学園小	東京都調布市	4,020,849
益世小	三重県桑名市	4,001,973
湖北台東小	千葉県我孫子市	2,003,737
大島小	富山県射水市	2,105,854
富士根南中	静岡県富士宮市	2,023,545
大庭小	神奈川県藤沢市	1,038,158
大野町立中小	岐阜県大野町	1,009,475
上里小	京都市西京区	1,002,475
日吉台小	大阪府高槻市	1,011,326
豊川南小	大阪府箕面市	1,034,745
三成小	広島県尾道市	1,004,454

# 友愛援助リスト

〈能登半島地震〉1月17日～1月31日  
◆栃木県 西那須野幼稚園（那須塩原市）石橋中（下野市）◆東京都 山王小（大田区）◆神奈川県 保土ヶ谷小（横浜市保土ヶ谷区）◆長野県 松代小（長野市）◆静岡県 鷹岡中（富士市）◆三重県 小俣小（伊勢市）◆島根県 岡見まちづくりセンター（浜田市）◆岡山県 吉備高原希望中（吉備中央町）

〈友愛援助申し込み〉1月1日～1月31日  
◆山形県 寒河江小（寒河江市）◆福島県 矢祭小（矢祭町）◆埼玉県 加治小（飯能市）◆東京都 第四小（東大和市）多聞小（世田谷区）◆神奈川県 大谷戸小（川崎市中原区）清泉女学院中高（鎌倉市）◆新潟県 宮内中（長岡市）◆長野県 吉田小（長野市）◆岐阜県 白鳥小（郡上市）◆静岡県 オイスカ浜松国際高（浜松市中央区）◆愛知県 豊橋南高（豊橋市）◆山口県 良城小（山口市）◆長崎県 長崎商高（長崎市）

能登半島地震への友愛援助も募集中!!

